

安心・安全で信頼できる美しい学校づくりをめざして



学校だより はんたましい

西原町立坂田小学校
令和5年4月11日
校長 松川 邦昭
児童数 854名



Here we go! むあ、行こう

四月七日の始業式当日、新学年への進級を待ち望んでいた新二年生から六年生までが元気に登校し、十日の入学式には、百二十八名の新一年生を迎えて全児童八百五十四名、教職員六十二名で、令和五年度、坂田小学校の教育活動がスタート致しました。お子様のご入学、新学年へのご進級おめでとうございます。

校長の松川邦昭と申します。今年度も引き続き宜しく
お願い致します。

今年もまた、子どもたちの豊かに輝く瞳に出会い、子どもたちと共に未来へ歩めることを幸せに感じています。毎朝の清掃・あいさつ運動・奉仕活動など、額に汗して頑張る子どもたちの優しく、頼もしい姿を目にして、感動で胸がいっぱいです。

学校は、保護者の皆様から、お子様の尊い命と限りない可能性を預らせて頂いています。子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせ「豊かな心」と「健やかな体」を育むことは学校の使命であります。また、学校生活の中心は授業です。「今日が楽しくて、明日も来たいと思える学校」になるためには、とにかく授業が楽しいとおもえることが大切になってきます。こんな学びを、学び合いをつくっていききたいという願いを持ちながら、本校職員は、新たな時代に向かい、たくましく活躍する子どもたちの教育を充実するために、温かく愛情を持って教育にあたり「子どもを通いたい学校・楽しい学校」づくりに努力してまいります。

今後とも、保護者のみなさま、地域のみなさまの本校の教育活動へのご理解とご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。



坂田っ子に頑張ってもらいたいこと

「相手のために」そして、「夢や目標を持つこと」

4月7日の始業式は、3年ぶりに1年生を除く全学年が、体育館へ一同に集まり始業式での「校長講話」を静かに聞いてくれました。以下は、その内容です。

新学期のスタートにあたって、校長先生から、二つの言葉を贈ります。

一つめは、「あいてのために」という言葉です。

新学期は、新しい先生や友だちとの新しい出会いの時でもあります。みんなが、楽しい学校生活を送るためには、一人一人が、あいてのために「優しい気持ちで助け合う」ことを大事にして欲しいと思います。

楽しい学級は、皆さん一人一人の「思いやり」や「優しさ」で創られていきます。

自分勝手な行動をしたり、ちくちく言葉で相手を傷つけていては、学級はまとまりません。困っている時、寂しい時にお友だちからの「励ましや優しい一言」は、大きな勇気や元気を与えてくれます。みんなが一人の気持ちを分かりあい、支え合う学級。お互いの考えを認め合い、新しいものを創り出していく学級。みんなが安心して生活できる学級にして欲しいと思います。特に5年生、6年生の皆さんは、委員会活動や学校行事で、学校の中心となり「仲間や後輩達のために」という気持ちを持ちながら活動できるといいですね。それが「自分の成長、そして、相手への思いやり」という行動につながります。みんなで支え合い、助け合う学校にしていきましょう。

さて、次は二つめです。二つめは「夢や目標を持つ」ということです。

誰でもみんな一人一人、素晴らしい「良さと可能性」を持っています。やるべき努力をコツコツ継続することで、いつの日か光輝くときがきます。どうか、夢を持ち、目標を立てて前へ進んで下さい。

そして、世のため、人のために尽くすあなたであって欲しいと心から願っています。

新しい時代に向けて「優しさと感動」でいっぱい坂田小学校を、みんなで手を取り合い、力を合わせて創りあげて行きましょう。



6年生、委員会活動 頑張っています。

新学期に入って早速、6年生の委員会活動が始まりました。全児童が、よりよい学校生活を送るよう、校内の重要な係活動を分担して自主的・自発的な活動を行うことがねらいです。

委員会活動を通して「やってあげる喜び」「役立つ喜び」を心から感じ、やりがいを見つけながら成長して欲しいと切に願います。「気づき、考え、行動する」坂田っ子の実践にご期待ください。今後も、子どもたちへの労いと励ましの声かけをお願い致します。